

平成29年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

団体名：一般社団法人グローバル人財サポート浜松

【地域日本語教育実践プログラム（B）】

○日本語教育の実施

全受講者数	12	人
アンケート回答数	5	件
アンケート回答率		%

（１）このプログラムを受けて、あなたの日本語は前より上手になったと思いますか。

①上手になったと思う	
②まあまあ上手になったと思う	1
③変わらない	4
④上手になっていないと思う	

（２）このプログラムを受ける前よりも、日本での生活ができるようになったと思いますか。

①できるようになったと思う	
②少しできるようになったと思う	4
③変わらない	1
④できるようになっていない	

（３）このプログラムの内容に満足していますか。

①満足している	
②まあまあ満足している	1
③あまり満足していない	4
④満足していない	

（４）もっと日本語を勉強したいと思いますか。

①思う	5
②思わない	

【地域日本語教育実践プログラム（B）】

○日本語教育の実施

全受講者数	5	人
アンケート回答数	3	件
アンケート回答率	60%	%

（１）このプログラムを受けて、あなたの日本語は前より上手になったと思いますか。

①上手になったと思う	
②まあまあ上手になったと思う	3
③変わらない	
④上手になっていないと思う	

（２）このプログラムを受ける前よりも、日本での生活ができるようになったと思いますか。

①できるようになったと思う	1
②少しできるようになったと思う	2
③変わらない	
④できるようになっていない	

（３）このプログラムの内容に満足していますか。

①満足している	
②まあまあ満足している	3
③あまり満足していない	
④満足していない	

（４）もっと日本語を勉強したいと思いますか。

①思う	3
②思わない	

団体名：一般社団法人グローバル人財サポート浜松

【地域日本語教育実践プログラム（B）】

○日本語教育の実施

全受講者数	6	人
アンケート回答数	6	件
アンケート回答率	100	%

（１）このプログラムを受けて、あなたの日本語は前より上手になったと思いますか。

①上手になったと思う	1
②まあまあ上手になったと思う	5
③変わらない	
④上手になっていないと思う	

（２）このプログラムを受ける前よりも、日本での生活ができるようになったと思いますか。

①できるようになったと思う	1
②少しできるようになったと思う	5
③変わらない	
④できるようになっていない	

（３）このプログラムの内容に満足していますか。

①満足している	6
②まあまあ満足している	
③あまり満足していない	
④満足していない	

（４）もっと日本語を勉強したいと思いますか。

①思う	6
②思わない	

平成29年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業
評価アンケートの実施について

【地域日本語教育実践プログラム（B）】

※本年度事業（全ての取組を含む）について運営委員会で評価の上、回答してください。各取組で実施したアンケート等を参考に評価してください。

（1）本事業の実施により、地域の「生活者としての外国人」に対する日本語教育の体制整備が進みましたか。

- ①かなり進んだ 4
- ②まあまあ進んだ
- ③少し進んだ
- ④あまり進まなかった
- ⑤全然進まなかった

（2）本事業の実施によって関係団体との連携が進みましたか。

- ①かなり進んだ 4
- ②まあまあ進んだ
- ③少し進んだ
- ④あまり進まなかった
- ⑤全然進まなかった

（3）本事業の実施によって地域住民の日本語教育に対する理解は深まりましたか。

- ①深まった 4
- ②まあまあ深まった
- ③あまり深まらなかった
- ④深まらなかった

インドネシア人のための日本語教室

Kelas Bahasa Jepang untuk Orang Indonesia

インドネシア^{しゅっしん}出身のみなさん、いっしょに日本語や日本文化^{にほんぶんか}、日本社会^{にほんしゃかい}のルールやマナーをインドネシア語^ごで学^{まな}びましょう！

Untuk semua orang Indonesia, mari belajar Bersama Bahasa Jepang, kebudayaan Jepang, tata gaul masyarakat Jepang dan tata krama dengan Bahasa Indonesia.

Waktu	Tempat	Agenda
7 月 16 日 (日) 16 Juli (minggu) 10.00~12.00	Global support Hamamatsu	Perbedaan kebudayaan Jepang dan Indonesia. 日本とインドネシア文化の違い
7 月 23 日 (日) 23 Juli (minggu) 10.00~12.00	Global support Hamamatsu	Tata cara bertamu ke rumah orang Jepang 日本人宅への訪問の仕方
8 月 6 日 (日) 6 Agustus (minggu) 10.00~12.00	Global support Hamamatsu	Berbagai cara utk jalan jalan di Jepang 様々な旅行の仕方
8 月 19 日 (土) 19 Agustus (minggu) 10.00~12:00	Tour Bus ke Takayama	友達になろう Ayo mari menjadi teman!
8 月 27 日 (日) 27 Agustus (minggu) 10.00~12:00	Global support Hamamatsu	Cara ke rumah sakit di Jepang. 病院で使う日本語
9 月 10 日 (日) 10 Sept (minggu) 10.00~12:00	Global support Hamamatsu	Cara ke salon di Jepang. 美容院で使う日本語
9 月 24 日 (土) 24 Sept (minggu) 10.00~12:00	MATAHARI restaurant	Mengakrabkan diri dengan orang Jepang 日本人の友だちとなかよくなろう

もうしこ
申込み

のメッセージへ

Pendaftaran silakan add dan inbox Facebook diatas.

さんかひ むりょう
参加費 無料 0円

Biaya pendaftaran GRATIS, 0 YEN.

主催 一般社団法人グローバル人財サポート浜松 文化庁平成 29 年度委託事業

Support : Institute sumber daya manusia global Hamamatsu、Badan Urusan Kebudayaan 2017.

CLASSE PARA PAIS E FILHOS

Que tal tirar suas dúvidas da língua japonesa, ou ainda sobre o cotidiano aqui no Japão.

Estudar o idioma japonês em um estilo totalmente diferente do convencional. A programação das aulas feita por alunos(as) e professores.

Podendo-se tirar dúvidas sobre o cotidiano ou ainda sobre estudar sobre a sociedade local.

Enquanto os Srs estudam as crianças podem fazer suas atividades das férias de verão, e/ou ainda tirar suas dúvidas sobre os estudos.

Universitários estarão ajudando as crianças à fazerem as tarefas de verão.

*Este ano será necessário uma taxa 500 ienes por dia de aula, para a manutenção do curso.

Calendário das aulas

1	25 de Julh (Terça-feira) 19:00~20:30	Enquete e orientação sobre o curso Programação	
2	1 de Ago (Terça-feira) 19:00~20:30	6	5 de Setem (Terça-feira) 19:00~20:30
3	8 de Ago (Terça-feira) 19:00~20:30	7	12 de Setem (Terça-feira) 19:00~20:30
4	22 de Ago (Terça-feira) 19:00~20:30	8	19 de Setem (Terça-feira) 19:00~20:30
5	29 de Ago (Terça-feira) 19:00~20:30		Encerramento do curso

Local: Goto Kyodo Center na Sala de palestras e/ou Sala para crianças (Hamamatsu-shi Minami Ward, Fukushimacho 242-1 TEL 053-425-9147)

Participação: Estrangeiro que entenda o português

Patrocínio: Ministério da Cultura do Japão

Limite de inscrições: 20 adultos e 10 crianças

Inscrições: Enviar e-mail para: lucas-jap@hotmail.com

Prazo para inscrição: 31 de julho (segunda-feira)

Informações e inscrição: 080-3661-1911 (Lucas) 090-2612-6294(Kanashiro)



地域創生のための 外国人のキャリアデザインと多文化パワーの活用

多文化コンシェルジュとは、同国出身者の後輩には日本での生活における助言や母国語を活用し情報提供や日本語学習を支援する人で、日本人には母国の文化や生活習慣を伝える人として、いわば日本と外国の架け橋・情報文化の羅針盤となる人材のことを意味します。現在、コンシェルジュの皆さんは、語学や異文化講座の講師や同国出身のための日本語講座を企画運営するなど様々な場面で活躍しています。そこで、本フォーラムでは多文化コンシェルジュ企画により彼らが協働した市民・大学生の皆さんと、これまでの取り組みを振り返り活動報告を行います。

また、本事業では外国人材の育成に向けて「ステップアップシート」を開発しました。ステップアップシートが何か、それをどのように活用して日本語指導者は何をしなければならないのか、社会を構成するセクターに求められる役割が何かを協議してきました。今回は、今後ますます活躍が期待される外国人材のキャリア形成についても考えていきます。

平成30年2月3日(土) 13:30~16:30 ザザシティ浜松中央館5F
参加費：無料 定員：50人 申込：メール info@globaljinzai.or.jp へ



～プログラム～

●講演 (13:40~14:40)

「外国人材のキャリア教育のための日本語支援とは」
ステップアップシート活用と実務習得型日本語教育への提案

講師：西原鈴子（特定非営利活動法人日本語教育研究所理事）

●報告1 (14:40~15:20)

「フィリピン音楽交流プロジェクト活動報告会」
メロディオンの普及による国際交流のための実践報告

報告者：大学生団体 HANDS ※はましん地域振興財団補助事業

●報告2 (15:20~15:50)

「天竜川河輪の陣」

市民と大学生とコンシェルジュによる地域活性化イベント

報告者：多文化コンシェルジュ、大学生団体こもだち

●報告3 (15:50~16:30)

「グローバル講座」

地域における国際交流を通したグローバル次世代育成

報告者：楠野映未（西遠女子学園高校3年）

総合司会進行：ドー ホアン ヒエップ（静岡大学留学生）



主催 一般社団法人グローバル人材サポート浜松

企画 多文化コンシェルジュと大学生の皆さん

協力 株式会社はまぞう

地域創生のための 外国人のキャリアデザインと 多文化パワーの活用

～多文化コンシェルジュの育成と活躍に見る
外国人の社会参画がもたらす効果～

多文化コンシェルジュとは

- 情報や文化の羅針盤として、同国出身者の後輩には日本での生活における助言、母国語を活用して生活情報の提供や日本語の学習支援を行い、一方で日本人には母国の文化や生活習慣を伝える人として、いわば日本と外国の架け橋となる人材のことを言います。
- 少子高齢化とグローバル化が進む地域社会の中で、持続可能な社会の構築には、外国人住民が有する多文化パワーを活用し、外国人も共に地域を支える人財として活躍できる仕組みづくりが求められます。そのため、私たちは多文化コンシェルジュの育成を通して、多文化共生社会に寄与する人材を発掘し、活躍できる機会の創出を目指しました。

多文化コンシェルジュ

母国語を活用して日本語学習支援を行う

SNS等を活用して母国に向けた日本（浜松）の情報提供を行う

同国出身者と日本人とを繋ぐイベントを企画運営し、国際交流の推進を図る

日本人向けの異文化理解講座等で講師を務める

日本人向けに言語や文化通訳を務める

H25

- 語学や文化講座の講師を担える人材の発掘
- 日本人と協働しながら事業を遂行できる人材の育成
- 日本人を対象とした文化講座を開催

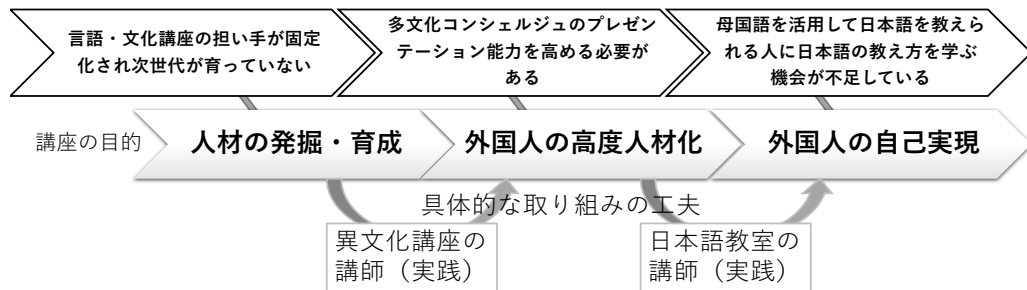
H26/27

- プレゼンテーション能力の高い多文化コンシェルジュの育成
- 母国語を活用して日本語指導者（支援者）になることのできる人材の育成
- 同国出身者を対象とした母国語を活用した日本語教室の開催

H28/29

- 「伝える」技術力を養成するための多文化コンシェルジュ講座の開催
- 同国出身者を対象とした母国語を活用した日本語教室の開催
- 外国人材の社会参画に必要なキャリアステップアップシートの開発/実践

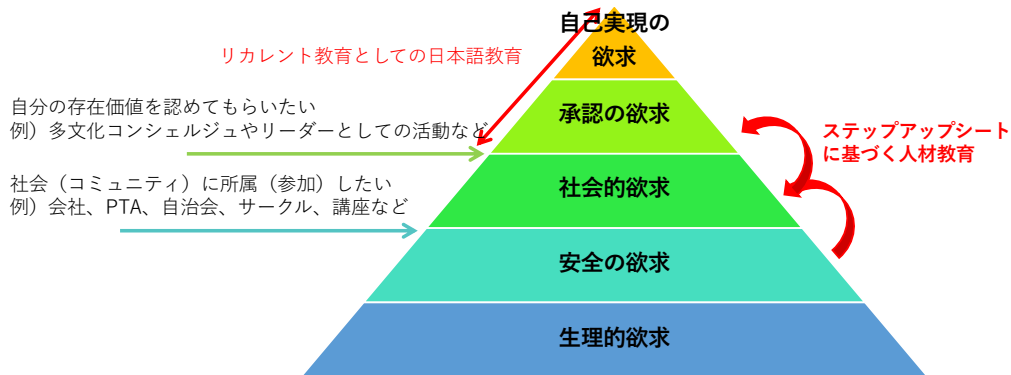
多文化コンシェルジュ育成講座の課題と変遷



コンシェルジュ講座の受講者が**在住外国人から外国人技能実習生や外国人留学生に変化**

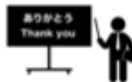
多文化コンシェルジュは、日本人に文化を教えることのできる講師や外国人に日本語を教えることのできる講師のではなく、**「日本人と外国人との交流と相互理解を深化させる役割を担う人」**のことである

1～2年目は社会における多文化コンシェルジュという人材の役割の確認と確保を模索していた。これまでの事業内容を振り返ってみると、外国人にとっては多文化コンシェルジュになることが「承認の欲求」で、その活動を通して「自己実現の欲求」を果たすのであることがわかった。そのため、3年目は自己実現こそキャリア形成につながるのだという仮説を立て、外国人が自らの「自己実現を果たす」ことのできる日本語能力とは何かを考察し、看護師教育で活用されているラダーを例に、段階別に求められる行為と能力を明確化した**ステップアップシート**が開発された。結果、ステップアップシートを基にした日本語教育の必要性がわかった。



多文化コンシェルジュに求められる能力

ニーズを把握する力



紹介する力
教える力



いろんな人をまとめる力
誘導する力、案内する力



聞く力

臨機応変に対応する力



ルールや違いを
説明する力
具体案を提示する力

人々を楽しませる力
企画力、アイデア力



情報収集力
調べる力
情報提供力

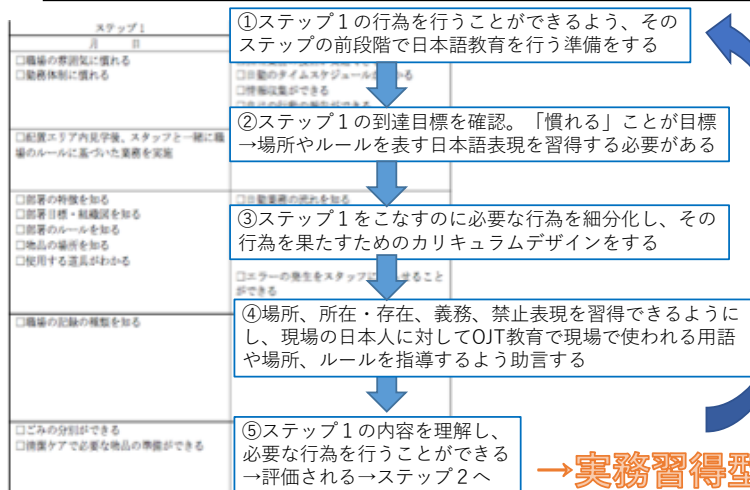
= 「伝える」チカラ

多文化コンシェルジュの能力はまさに日本語教師に必要な能力なのではないだろうか

人材育成としての日本語教育

- 様々なステークホルダーとの連携・協働によるもの
- 日本語教師は「現場のオペレーション」を円滑に行えるようにする存在であること
- 日本語教師や支援者には外国人と日本人を繋ぎ合わせる（＝多文化コンシェルジュの）ような役割が求められる
- 外国人を取り巻く日本人にも「伝わる」日本語能力や「当たり前が当たり前ではない」異文化理解力が必要となる
- 日本語教師は、外国人がどんな自己実現を果たしたいのか、どのような行為ができるようになりたいのか、それらのニーズを把握し、その目標値（ゴール）への道筋を明確にすること
- 日本語を学ぶ外国人が、現場（社会）において、その能力を自己評価ができるよう自律学習を促すことも大切である
- キャリア形成のための日本語教育は自己実現と承認欲求の間を行き来するリカレント教育とも言える

平成29年度ステップアップシートを活用した日本語教育の実践



ステップ1の段階でステップ2をこなすための日本語教育を行っていくという流れでステップを登るよう、スパイラルにレベルが上がる

→実務習得型日本語教育

多文化パワーを活用する社会的意義と効果

浜松（地域）の魅力を母国に情報発信する

SNS等での情報提供によるインバウンド効果
浜松でのジャパンドリームを抱く若者の流入

同国出身の外国人のリーダー的存在になる

多言語での生活情報の提供
母国語を活用した日本語学習の支援
災害時・緊急時のキーパーソンとして同国出身者を取りまとめる＝エスニックコミュニティの確立
外国人の互助関係の構築

日本人に母国の文化や習慣を伝えることができる

日本人の異文化理解の深化
日本人の国際交流に対する興味関心の契機
多文化共生への意識啓発

外国人と日本人とのコミュニケーションと良好な人間関係の構築

外国人も活躍できる・自己実現が果たせる場（機会）が創出されることで
多様な人が集まる→多様な文化（賑わい）が生まれる→地域の活性化

浜松圏

在日外国人や大学生の支援に取り組む「グローバル人財サポート浜松」(浜松市中区)はこのほど、多文化共生を考えるフォーラム「地域創生のため

コンシェルジュや大学生ら 多文化共生へ活動報告 中区でフォーラム



活動を振り返る多文化コンシェルジュと大学生
＝浜松市中区のザザシティ浜松中央館

の外国人のキャリアアップと多文化共生の推進を目的に、85人が参加。同団体が主催している日本人と外国人のつなぎ役「多文化コンシェルジュ」と大学生が2017年

度の活動を報告した。多文化コンシェルジュのランガアラヨゴさんのランインドネシア出身の静岡文化芸術大学の学生らは、水鉄砲大会などを催した地域活性化イベント「天竜川河輪の陣」を紹介した。同大3年の渡辺愛さん(22)は、約120人の地域住民や留学生が集まったことに触れ、「国籍や性別、年齢に関係なく全員で純粋に楽しめたことが良かったと振り返った。ランガアラヨゴさんは「日本の文化をもっと知りたいと思った」と語った。